

JR東労組盛岡

No.99

2021年6月11日
東日本旅客鉄道
労働組合
盛岡地方本部

〒020-0045

盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号

発行人 佐々木克之

編集人 情宣部

NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157

JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

申14号 組合員と家族の生活確保とモチベーション維持・向上を求める
2021年度夏季手当等に関する緊急申し入れ 団体交渉を行う

本日（6月11日）団体交渉を行い、
組合員の声を突き付けるも
会社回答は変わらず！

基づく要求項目
組合員の声に

2021年 夏季手当
基準内賃金 2.4ヶ月

新型コロナウイルス
感染症 特別手当
一律 5万円

JR 東日本グループの
エンゲージメント向上
びゅう商品券 5万円

会社は 2.0ヶ月という
回答を変えず対立！

納得できる回答ではなく
妥結できず！！

- ◆2.0ヶ月という回答は、第1回・第2回交渉で組合から主張させて頂いた組合員の声の認識が一致しておらず、受け止められていない。
- ◆コロナ禍における新たな業務を担ってきた、組合員・社員の努力に報いる必要がある。
- ◆夏季手当が昨年より下回ると生活設計が出来ない。夏季手当は生活費として位置付けている。
- ◆生計が苦しくなっている中、黒字化に向けた構造改革に真剣に向き合い、努力を重ね、やっと黒字予測が出た中、職場ではコストダウンをした金額で物が買われている。
- ◆努力を重ね黒字という予測が出される中、なぜ賃金が大幅にカットされるのか。
- ◆どこまで我慢をすればいいのか。どこまで身を切って生活を続けられればいいのか。
そういう不満や不安が渦巻いている。そのことは認識するべきだ。
- ◆回答（2.4ヶ月）があれば、黒字へ向かい、社員一丸となって、構造改革にチャレンジできる。
「決意と実行」を行う、組合員と家族の生活確保、モチベーションの維持・向上のための極めて建設的な組合側からの提起だ。これが申14号提出の趣旨である。この趣旨を受け止めて頂き、回答（2.4ヶ月）を求める。

会社は職場の声を受け止め、赤字下の職場の努力に向き合い、その努力に報いるべきだ！！